

研究課題番号	4-1902
研究課題名	ゲノム情報に基づくテラメイド生物多様性保全策の構築と検証
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	京都大学
研究代表者名	井鷲 裕司

1. 委員の指摘及び提言概要

希少植物の保全難易度や保全価値を科学的に評価する手法を提案しており、今後の生物保全政策に役立つ知見と手法を示した研究として、高く評価できる。ゲノム解析により、現在のレッドリスト基準（個体数、分布面積、減少率など）ではカバーされない保全上の価値や難易度を明確化したことが高く評価できる。行政ニーズに直接貢献するだけでなく、学術的にもユニークな研究であり、推進費の研究として国際的にアピールできる成果が得られたと評価する。たくさんの分析対象候補種が存在しているが、それをどのような戦略で進めていくのが重要だと思われる。保全策を議論する場合は、ゲノム以外の情報、すなわち外部環境（干ばつなど）も複合的に勘案して議論することが望ましいだろう。

2. 採点結果

評価ランク：S